

【NEWS RELEASE】

2022年1月4日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

三井住友フィナンシャルグループ 執行役社長 グループ CEO 年頭メッセージ要旨

本日、三井住友フィナンシャルグループ（以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）執行役社長 グループ CEO 太田 純は、グループ会社の役職員に対して以下の趣旨のメッセージを送ったのでお知らせいたします。

【要 旨】

昨年は、新型コロナウイルスの感染が拡大する時期もあったが、皆には、持ち場持ち場で業務に邁進してもらった。

2022 年は、最終年度となる中期経営計画の目標達成を通じて、経済的価値の実現を目指すとともに、気候変動を始めとするサステナビリティへの対応を加速して、社会的価値を高めていく1年にしたいと思う。そこで、皆に心掛けてもらいたいことを2点申し上げる。

1 点目は、「Engagement（エンゲージメント）」、すなわち、お客さまに寄り添い、丁寧に「対話」するということ。今、お客さまは、コロナで受けた傷をどう回復していくか、カーボンニュートラル実現に向けてどう取り組むか、加速するデジタル化にどう対応していくかなど、法人、個人を問わず、様々な課題を抱えていると思う。こうしたお客さまに、適切なソリューションを提供するためには、皆が、お客さまと丁寧に対話を重ね、お客さまが抱える真の課題を理解することが大切である。

2 点目は、「Execution（エグゼキューション）」、すなわち、お客さまへのサポートをしっかりと「実行」するということ。日々、お客さまと向き合い、新しいことや、難しいことに取り組むと、壁にぶつかると思うが、そのような時こそ、自身の成長のチャンスだと前向きに捉え、怯むことなく、自ら考え抜き、周りのサポートも得ながら、実行することにこだわってほしい。一人ひとりがオーナーシップを持って、必ず実行するという強い気持ちをもつことが、お客さまに喜ばれるソリューションの提供、ひいては、中期経営計画の目標達成に繋がっていく。

昨年開催された東京オリンピック・パラリンピックを通して、私は、「夢を持つこと・叶えることの大切さ」を改めて感じた。夢は、あきらめずに努力を続ければ、いつか実現する。私は、SMBCグループでの仕事を通じて、皆にこうした体験をしてもらいたいと思っている。夢を叶える舞台を整えるのは、私の役割だが、実現に向けて行動を起こすのは皆自身。あきらめずに努力を続け、一人ひとりの夢を叶えてほしい。

今年の干支は「寅」。「最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展するグローバルソリューションプロバイダー」というビジョンに向かって、皆とともに、虎のごとく、力強く突き進んでいきたい。

以 上